

2026年9月13日 聖霊降臨後第十六主日礼拝説教
「十字架を挟んで人を映す鏡」(マタイ18章21～35節)

○マタイ18章21節

「主よ、兄弟がわたしに対して罪を犯したなら、何回赦すべきでしょうか。」

＊人と人が集まれば、赦せないと思えることも出てくる。

☞お互いに「わざとではない」と分かっているけど…

「七回どころか七の七十倍までも赦しなさい。」(22節)

＊神の子イエスは「限りなく赦し続けよ」と命じられた。

問：人を赦す心と力は、どこから来るのか？

今日のみことば：マタイ18章27節

「その家来けらいの主君しゅくんは 憐れあわに思おもって、彼かれを赦ゆるし、その借金しゃっきんを帳消しちょうけにしてやった。」

＊わたしたちも、譬えに出てきた家来のように…

⇒ただ、神の憐れみによって、赦されたに過ぎない。

☆キリストが、すべての悪しきものを引き受けられたから。

※十字架のうちに示された神の深き憐れみを見よ。

「わたしが お前を憐れんでやったように、お前も 自分の仲間を憐れんでやるべきではなかったのか。」(33節)

＊この家来と同じく、〈与える憐れみ〉を忘れがちだが…

※赦せない思いを抱えて、十字架の御許にもっていこう。

○創世記50章20節

「あなたがたはわたしに悪をたくらみましたが、神はそれを善に変え、」

＊兄弟との間にも、神の御心を見たヨセフが示した赦し。